



華麗なる図書館利用者のための

Cool Librar

クールリブラ

講座

カジのうら若き青春黙示録

文/カジ

同じものが二桁個数手元に届くと

なかなかの重量感だよ (byカジ)

本編とは一切関係ないのだが、先日某通販サイト「アマゾン」で購入した品物がカジ家に届いた。箱を開けると「消臭力・無香タイプ」が12個入ってる！確かに消臭力・無香タイプ」を注文した覚えはあるが、2個しか頼んでいないはず。これはアマゾン先生間違えたなと思ひ、注文履歴を確認すると、あから12個注文してました！見事な誤発注でございます。アマゾンの商品ダンボールに詰める係の人「消臭力12個とかどんだけクサイんだよ」とか思ったんだろうなあ。

アマゾン先生に注文するときは…

注文個数を確実にチェックしよう。さもないと消臭力・無香タイプが大量に届く羽目に。それと、価格ドットコムで調べた家電の価格を電気屋の店員さんに見せて値切り交渉すると、わりと微妙な顔をされるので合わせて注意すること。

「前回までのあらすじ」

中学2年のクラス替えで「学園のアイドル千絵ちゃん隣の席になる」というミラクルを起こしたカジ少年。急速に千絵ちゃんと仲良くなり、バラ色の毎日だったが…

学校に行けば千絵ちゃんに会える。風が吹けば桶屋が儲かる的システムより遥かに単純なこの理由により、学校嫌いだっただカジは毎日楽しく登校するようになっていた。ところが、新学期から1月ほど経過したある日、担任からこんな話があった。

「いろんな人と仲良くなってるも良いたいから、今年は何月席替えをしようと思う」

まさかの提案である。席替えをすればほぼ確実に千絵ちゃんの隣ではなくなる。奇跡的に訪れたこのフィーバータイムが、担任の気まぐれ発言により終了の危機を迎えている。在庫処分を体良く表現した「シエフの気まぐれサラダ」は許されても、この「担任の気まぐれ席替え」は決して許してはいけない。とはいえ、クラスのみんなからは、毎月席替え案に肯定的な空気が漂っている。まずい、まずいよ。四面楚歌どころか四十二面楚歌ぐらいのまずさだよ。しかし、指をくわえていても事態は何も変わらない。考えろ！考えろんだカジ！生徒からの異論はなく、席替えの仕切りは学級委員に委ねられた。

「席替えはくじ引きでいいですか？」
学級委員の無慈悲でやつけた問いかけに対し、意を決してカジが言葉を放つ！

「普通にやつても面白くないわ、

なにか斬新な方法でやりたいです！」

隠れキヤラの存在であるカジの発言にざわつく教室。そしてこの時のカジ、未だノーブラン！ さあどうする!?

